

長野県農業士協会上小支部主催

「スマート農業」推進研修会を開催しました

8月24日、上田市殿城のリンゴ園で、長野県農業士協会上小支部主催「スマート農業」推進研修会が開催されました。

「スマート農業」については、作業の効率化や自動化を図るために様々な機械が開発されていますが、今回は除草作業の自動化をテーマに、ロボット芝刈機「AUTOMOWER」の実演会と意見交換会を行いました。

販売元である（株）麻場の担当者の説明では、「AUTOMOWER」は埋設したワイヤーの範囲内を常に自動で草刈りする機種で、昼夜問わずランダムな方向に動くため、鳥獣害対策にも効果があると言われているそうです。

設置農家の感想では、「まるでゴルフ場のようにきれいに刈ってくれる。昼も夜も動いているせいか、いつもより獣害が減っている気がする」とのことでした。

意見交換では、農業技術課先端技術広域担当の花岡普及指導員から「スマート農業の取組と現状」について説明があり、「様々なツールが出てきてはいるが、高価なものが多く、費用対効果を検討したうえで導入してほしい」とのことでした。

参加した農家からは、「草刈りは『金にならない（収入増と直結しない）』作業、出来ればコストはかけたくない。導入するには手ごろな価格まで安くなるか、行政やJAの補助がないと、導入は難しい」との意見がありました。

今回の研修会は、スマート農業への理解を深める良い機会になったと思います。

